

書名	日本人のこころの言葉 本居宣長		著者名	吉田悦之			
出版社	創元社	ISBN	978-4-422-80068-4	本体価格	¥1,200	発売	2015/5/12
内容	日本とはどういう国か——。江戸時代中期、医学修行のために伊勢松坂から京に上った本居宣長は『源氏物語』などの古典研究を通して、日本のアイデンティティを探っていく。それは「物のあわれ」論や『古事記伝』に結実する。そのような偉業を成し遂げた宣長の生き方は、世界が不思議に満ちていることに驚き、自分の目で見て考えることを丁寧に誠実に続けるというものであった。学問大成の秘密を、膨大な著作や書簡から発見する。						

書名	倭国通史		著者名	高橋進			
出版社	原書房	ISBN	978-4-562-05150-2	本体価格	¥3,000	発売	2015/5/1
内容	1世紀末に統一された倭国とは、大和と九州両陣営の連合と離反の時代を経て、やがて消滅し、日本として統一される。中国史書や日本書紀とも整合する「倭国と大和」の全体像を検証。工学博士ならではの論理展開が読ませる「はじめての通史」!						

書名	近畿の名城を歩く 滋賀・京都・奈良編 近畿の名城を歩く 全2冊		著者名	仁木 宏・福島克彦編			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08265-5	本体価格	¥2,400	発売	2015/5/25
内容	佐和山城・安土城・伏見城・郡山城……。最新の発掘成果に文献による裏付けを加え、名城80を紹介。〈名城を歩く〉近畿編の第二弾。						

書名	仏像の原型		著者名				
出版社	青幻舎	ISBN	978-4-86152-483-7	本体価格	¥3,800	発売	2015/5/1
内容	阿弥陀三尊像・地蔵菩薩・大黒天など人気の仏像を下絵・あらゆる角度・これまでの以上の図版点数で行程をこまかく紹介。大仏師 高井琮玄氏、待望の新刊!						

書名	現代仏師と読み解く 異形の仏像たち(仮)		著者名	江里康慧(監修)			
出版社	総合図書	ISBN	978-4-86298-156-1	本体価格	¥1,400	発売	2015/5/21
内容	なぜこんな仏像が存在するのか？ 現代仏師の解説とともにその謎に迫る！本書では、普段紹介されることが少ない、異形の仏像、ユニークな仏像、不思議な仏像、エロスを感じさせる仏像など、一風変わった仏像たちを取り上げていきます。また、現代の仏師の方に登場いただき、仏像を造るという視点から、その仏像が意味するもの、造形の秘密、歴史的背景などといった解説をしていただき、仏像の新しい見方を提示します。						

書名	日本の美しい図書館		著者名				
出版社	エクスナレッジ	ISBN	未定	本体価格	¥1,600	発売	2015/5/29
内容	日本の「美しい図書館」全41館を集めた、ワクワクするガイドです！；伝統的な様式、独創的なスタイル、魅力的な美しい図書館に、ちよいと、出かけてみませんか？						

書名	世界にほこる日本の和紙 世界遺産になった和紙<仮>		著者名	紙の博物館監修			
出版社	新日本出版社	ISBN	978-4-406-05898-8	本体価格	¥2,500	発売	1900/1/0
内容	2014年11月、ユネスコの無形文化遺産に登録された「和紙とその手漉き技術」。嬉しいことでしたが、そもそも和紙ってなあ〜に？ 手づくりの紙は日本だけじゃないのに、どうして日本が選ばれたの？ 学校での体験学習などもおこなわれている和紙の良さを、その文化的背景や世界での歴史など様々な角度から解説。第1巻では文化的背景を考えます。						

書名	古代天皇陵の謎を追う		著者名	大塚初重			
出版社	新日本出版社	ISBN	978-4-406-05905-3	本体価格	¥1,500	発売	2015/5/30
内容	現在天皇陵とされる古墳の中には、その天皇の治世と古墳の築造時期が大幅にずれている例が存在する。なぜそんなことになるのか？ そこに葬られているのは本当は誰か？ 日本考古学界の第一人者が、今日までの発掘調査と出土品研究をもとに、卑弥呼の墓・邪馬台国論争や考古学の課題も含め、最新の研究成果を語る。						